


官民連携の実働を伴う地球温暖化対策プロジェクト～土地本来の森の再生～		取組開始時期	2009年4月	取組の 카테고리	環境対策
------------------------------------	--	--------	---------	----------	------

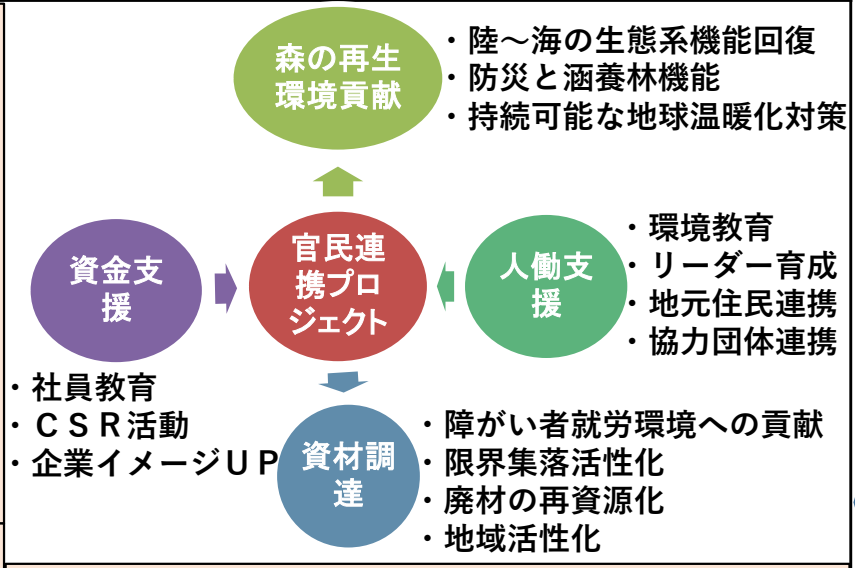
1. 団体名	非営利型一般社団法人Silva(シルワ)	2. 連携先の団体	協働参加型めぐりの森づくり推進会議、混植・密植方式植樹推進グループ、神奈川県、横須賀市、逗子市、葉山町、湘南国際村自治体、葉山町自治体、東京海上ミレア少額短期保険(株)、横浜銀行、(公社)国土緑化推進機構、三機工業株(株)、パタゴニア日本法人、テレビ神奈川(株)他		
--------	----------------------	-----------	--	--	--

3. 取組目的	土地本来の森の再生を通じて、コミュニティ創生・環境教育・参画平等・福祉貢献・資源再利用等へ波及しながら、生態系の回復と防災・地球温暖化対策を目指します。	4. 関連するゴール			
---------	--	------------	---	--	--

**5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）**

**取組の成果**

- ・2009年より年2回開催する植樹事業により、累計植樹本61,605本、植樹ボランティアのべ9,199名、累計緑化面積1.9ヘクタール→極相林への生長過程での二酸化炭素の固定量は、現緑化面積にて推定1397.32トン
- ・県下障がい者が育苗した苗木を約3000本の優先依頼することによる福祉的就労環境への貢献額135万円(基金込)/年
- ・県下山岳部の限界集落へ端材の再資源化による炭を年500kg購入し20万円を支援
- ・東京都水道局の廃棄予定の使用済活性炭を年6～12トン入札引取りし土壌活性化へ活用



**継続中の取組と方向性**

2015年より従前の施工を見直しSilva独自の生態系機能回復式を実践し緑化可能エリア拡大

- ・従前500～800万円/年、現300～400万円/年
- 事業費30～50%削減し持続性をUP
- ・300m<sup>2</sup>に約20 m<sup>3</sup>の樹木の焼却回避
- CO<sub>2</sub>削減排出量18.3tons CO<sub>2</sub>/300m<sup>2</sup>
- ・年間100kgのアオサの焼却回避
- CO<sub>2</sub>削減排出量100.8kg CO<sub>2</sub>/年
- ・年間30 m<sup>3</sup>の植物残渣の焼却回避
- CO<sub>2</sub>削減排出量30.2tons CO<sub>2</sub>/年

直接的な焼却回避の換算でもCO<sub>2</sub>削減排出量の合計は年間約50トン。持続可能な生態系へ負荷のかからない森の再生を目指す。

**取組の詳細**

「土地本来の森」は、暴れる太陽エネルギーと二酸化炭素と水を吸収し酸素供給により大気温度調整を行います。また、川の水位を調整する涵養林や地すべり・土砂崩れを防止する防災林として防風・防塵・防火・防水などあらゆる遮断効果を発揮し、ふもとの人々の命を護る砦となります。その上、安全な土と水を育み陸から海の水の大循環を健全化します。そうした森の再生を開発跡地「湘南国際村めぐりの森」にて、神奈川県のコア事業としてグループ長及び連名主催の立場で推進しております。当該官民連携プロジェクトは神奈川県下を中心に連携団体は教育機関も含め50団体以上にのぼります。こうした機会は環境教育や参画平等の場としても有効です。

**取組のポイント（3つの視点）**

**地方創生SDGsの視点**

- ・元々、支流に繋がる水源林だった湘南国際村での森の再生事業は、裾野住民への派生效果3000世帯を超えます。
- ・地元行政の広報協力により、地域の方の認知度も上がり、近隣住民の体験作業がコロナ禍でも途切れず継続され、官民連携による信頼と実績がファン層を増加しています。

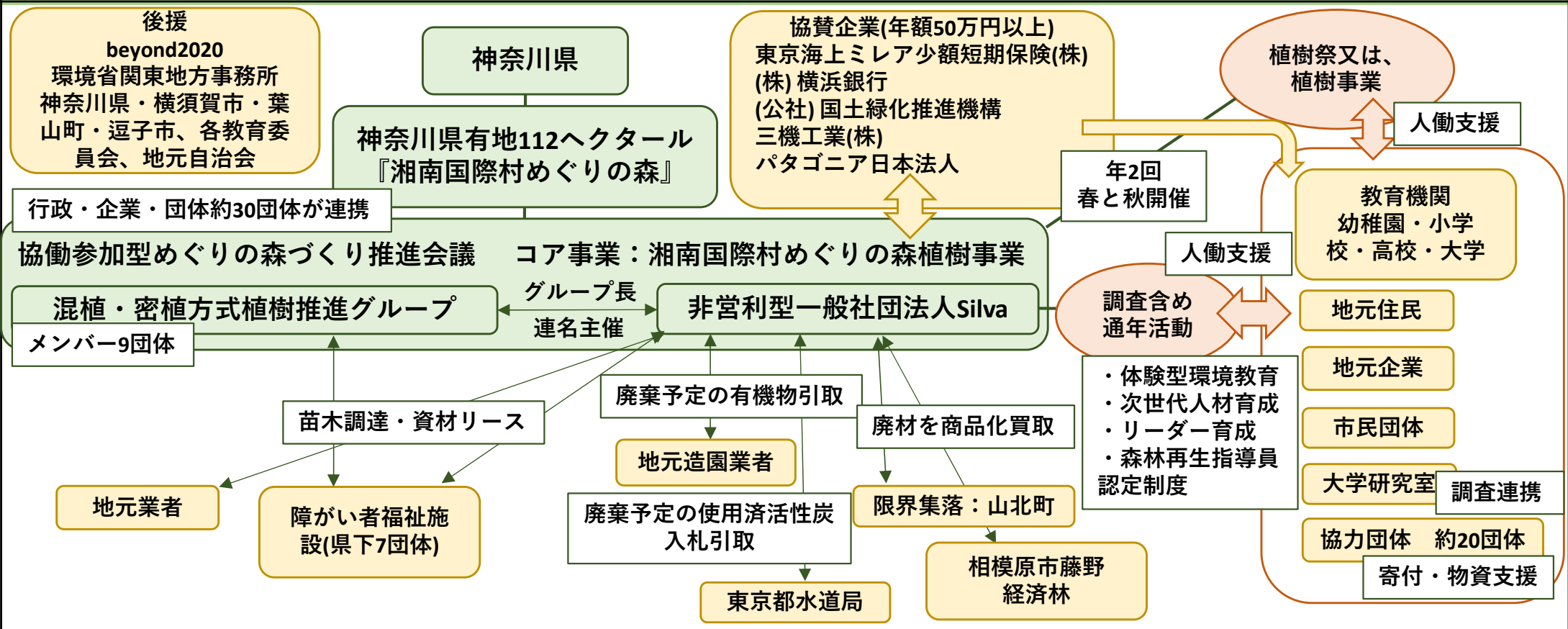
**ステークホルダーとの連携**

- ・神奈川県はSDGs未来都市・モデル事業。
- ・連携 t v k にて事業毎5分間のNews放映。
- ・県下の障がい者施設や限界集落、地元業者へ資材や重機リースを優先発注、同様に廃棄予定の有機物も引取り再資源化、地域活性化と併行し、福祉貢献も実践。
- ・連携先は年毎に2～5団体増加。

**モデル性・波及性**

- ・beyond2020オリンピックスピノフイベントとして2017年より事業開催毎に認証獲得。
- ・神奈川県かながわSDGsパートナー登録
- ・森講座は約300名/年(2019年迄)動員。
- ・森林再生指導員認定制度を設け、地域リーダー育成と共に受講料無料で学生優遇。スタッフの約半数が現役大学生
- ・クライアントは当法人の同様の緑化指導にて2017年環境大臣賞を受賞。

官民連携の実働を伴う地球温暖化対策プロジェクト ～土地本来の森の再生～ 連携体制図



**2030年までに目指すべきゴール**

疲弊した地域景観や人為的に塗り替えられた植生景観が抱える問題は、圧倒的に災害に弱い点にあります。現在、緑は見栄えやインテリア・経済効果として用いられることが多いのですが、土地本来の植物の集合体である森の本質は、防災や地球生態系の健全化にあります。こうした災害や外的ストレスに強いグリーンベルトを生育する過程で、地域住民・自治体・企業・市民団体等と連携しながら、地域本来の植生の真の価値と認知度を上げることが緑化の持続性とスピードを増し、再生後には保全するコアなエネルギーとなります。

土地本来の森の再生を通じて、コミュニティ創生・環境教育・参画平等・福祉貢献・資源再利用等へ波及しながら、生態系の回復と防災・地球温暖化対策を目指し、当該地「湘南国際村めぐりの森」では、2030年までに事業を継続し累計4ヘクタールの防災林を目指します。

**人働支援 連携先からのコメント**

100年の森が育つ明治神宮の表参道にオフィスを構えるparkERs。都会にも山にも植物を植え、地球に住むすべての生き物に豊かな時間を広げていきたいと思っています。シルワの活動を広げ、地球が健やかに生存できるよう、架け橋になれば幸いです。

寄稿：(株)パークコーポレーションparkERs  
 【人働支援連携先】(株)パーク・コーポレーション、パタゴニア有志一同、葉山PTAボランティア隊、Silvaボランティア隊